



なかのdeかいごタイムズ

Vol.09 脳科学の視点からの認知症理解

第9回介護サービス事業所研修を開催！

11月20日に中野区介護サービス事業所の研修の第9回目が開催されました。今回は認知症をテーマに取り上げましたが、脳科学という、少し変わった視点から認知症の理解を図る研修となりました。認知症の研修は数多く受講されている受講生の皆様かと思いますが、また新たな気づきが得ていただけたようです。日ごろの業務に生かしていただけると大変うれしく思います。介護サービス事業所研修では現場のお仕事や事業所運営に役立つ研修を行っております。また次回のご参加をお待ちしております。

<研修資料抜粋>

令和5年度中野区介護サービス事業所研修

脳科学の視点からの認知症の理解

2023年11月20日
恩蔵純子

海馬の役割

海馬は現在起こっていることを定着させるために重要
二、三年分記憶不安定
ずっと昔の記憶は安泰
海馬損傷した時点
覚えられない

人間は既に「これが好き」とわかっているものだけでなく、新しい世界を探索したいという動機がある。

新しい情報の探索 (安全基地から出る)
既知の情報の利用 (安全基地に留まる)

脳科学における「その人らしさ」: Big 5

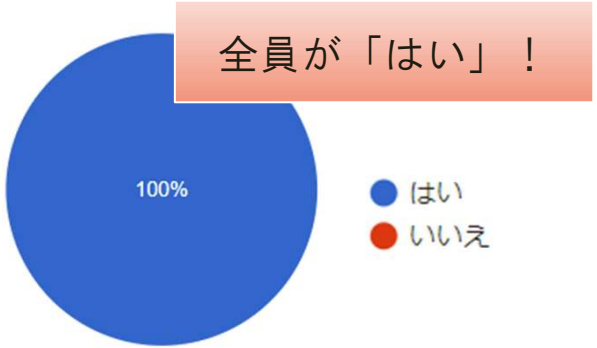
開放性 (Openness) 誠実性 (Conscientiousness) 外向性 (Extraversion) 協調性 (Agreeableness) 神経症 (Neuroticism)

人格 (Personality) (好奇心) (一貫性)

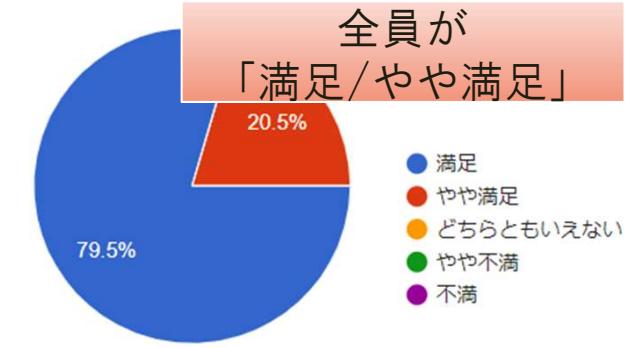
Albanius D'Arco, et al. Journal of Alzheimer's Disease 62 (2018) 773-783
https://doi.org/10.1016/j.jad.2018.05.045

研修後アンケート結果 (参加者48名)

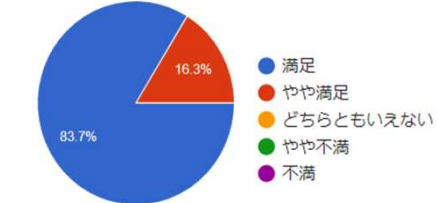
・研修の内容は業務に活かせるものでしたか？



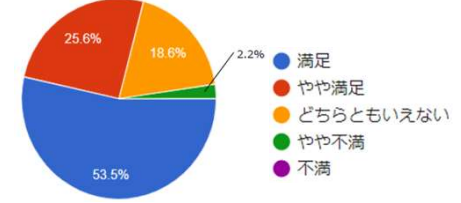
・研修の満足度を教えてください



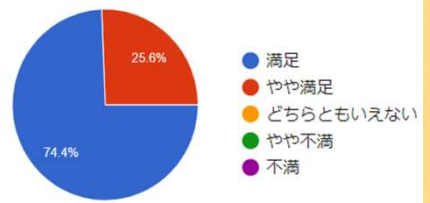
・研修内容：全員が「満足/やや満足」



・研修資料：79.1%が「満足/やや満足」



・講師：全員が「満足/やや満足」



アンケート回答より、ご受講いただいた方々のご意見を紹介します！

Q.研修を受けて今後取り組んでいきたいこと

- ・『安全基地』というワードが印象に残ったので、家族等へのご説明の際にこのワードをもとに話を展開できるようにしたいです。
- ・認知症を脳科学の視点で考えることが初めて。全て前向きな理由がある事が知れた。
- ・認知症への理解をご家族にうまく説明できるように、本日の研修を振り返る。